【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【公開番号】特開2020-58816(P2020-58816A)
【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2019-217122(P2019-217122)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　18/12　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　18/14　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　25/10　(2013.01)
Ａ６１Ｍ　25/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　18/12
Ａ６１Ｂ　18/14
Ａ６１Ｍ　25/10
Ａ６１Ｍ　25/14　５１８

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月11日(2020.5.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エネルギーによって塞栓を生じさせる装置であって、
内壁を有するイントロデューサ・シースであって、その内壁が前記イントロデューサ・シースの近位部から遠位部へと延びる長手方向の開口部を形成する、イントロデューサ・シースと、
外壁を有し、近位部から遠位部へと延びる長手方向の開口部を有する第１カテーテルであって、前記イントロデューサ・シースの長手方向の開口部を貫いて配置される前記第１カテーテルと、
イントロデューサ・シースの内部と流体連結して配置される第１端を有し、前記第１カテーテルの内部と流体連結して配置される第２端を有する導管であって、前記イントロデューサ・シースの前記内部、前記導管の内部、そして前記第１カテーテルの前記内部を通り、前記第１カテーテルの遠位部を通って出ていく、順行性の血流を標的となる血管の内腔に生じるようにする前記導管と、
前記第１カテーテルの前記長手方向の開口部を貫いて配置する第２カテーテルと、
前記第２カテーテルの長手方向の開口部を貫いて配置されたエネルギー供給ワイヤと、
流体を前記導管の内部に導入するためのアクセスポートであって、選択的に開閉できるアクセスポートと、
を有する、エネルギーによって塞栓を形成する装置。
【請求項２】
前記導管の前記第１端が前記イントロデューサ・シースの前記内壁と前記第１カテーテルの前記外壁との間の前記イントロデューサ・シース内部の領域と流体連結して配置されている、請求項１に記載の装置。
【請求項３】

更に、前記導管と前記第１カテーテルの間に配置されるバルブ装置を備える、請求項１または請求項２に記載の装置。
【請求項４】
更に、前記イントロデューサ・シースにおいて一体的に形成される側部ポートを備える、請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の装置。
【請求項５】
更に、前記側部ポートに栓部を備える、請求項４に記載の装置。
【請求項６】
更に、前記第１カテーテルの遠位端に先端部を備え、前記先端部が前記第１カテーテルの最大の外径よりも小さい外径を有する、請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の装置。
【請求項７】
前記第１カテーテルがバルーンカテーテルである、請求項１から請求項６のいずれか一項に記載の装置。
【請求項８】
前記アクセスポートに前記導管の内部と流体連結する三又の栓部が設けられている、請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の装置。
【請求項９】
前記第２カテーテルはバルーンカテーテルである、請求項１から請求項８のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１０】
前記第２カテーテルは、バルーン・マイクロカテーテルである請求項９に記載の装置。
【請求項１１】
前記第１カテーテルは、バルーンカテーテルではない、請求項９又は請求項１０に記載の装置。
【請求項１２】
前記エネルギー供給ワイヤが、取り外し可能なプローブを含む、請求項１から請求項１１のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１３】
前記エネルギー供給ワイヤが直線型先端部、らせん状先端部又はＶ字型先端部を有する、請求項１から請求項１２のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１４】
また、前記順行性の血流を許容し又は止めるように構成されるコントロールバルブを備える、請求項１から請求項１３のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１５】
前記コントロールバルブが前記導管の内部と流体連結している、請求項１４に記載の装置。
【請求項１６】
また、エネルギーを前記エネルギー供給ワイヤに送るために、前記エネルギー供給ワイヤと連携して操作可能なエネルギー供給装置を備える、請求項１から請求項１５のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１７】
前記イントロデューサ・シースの前記内部が前記イントロデューサ・シースの前記長手方向の開口部である、請求項１から請求項１６のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１８】
前記第１カテーテルの前記内部が前記第１カテーテルの前記長手方向の開口部である、請求項１から請求項１７のいずれか一項に記載の装置。